



# 深川の雪と吉原の花

＊アメリカ（ワズワース・アセニアム美術館）より来日

# 歌磨大作

Utamaro's Masterpieces Reunited : *Fukagawa in the Snow and Cherry Blossoms at Yoshiwara*  
Together after 138 Years

138年ぶりの夢の再会

# 深川の雪と吉原の花

＊アメリカ（ワズワース・アセニアム美術館）より来日

138年ぶりの夢の再会



喜多川歌磨「深川の雪」(部分)  
江戸時代 享和2~文化3年(1802~06)頃  
岡田美術館蔵

喜多川歌磨「吉原の花」(部分) 江戸時代 寛政3~4年(1791~92)頃  
ワズワース・アセニアム美術館蔵 (アメリカ・コネチカット州ハートフォード)

2017 7.28(金) → 10.29(日)

開館時間：午前9時～午後5時 (入館は午後4時30分まで) ※会期中休館日なし

入館料：一般・大学生 2,800円 小中高生 1,800円

※団体割引(10名以上)・障害者割引あり ※美術館ご利用の方は、駐車場・足湯入湯料無料

岡田美術館  
OKADA MUSEUM OF ART

バス停「小涌園」より徒歩すぐ

〒250-0406 神奈川県足柄下郡箱根町小涌谷493-1  
TEL:0460-87-3931(代表) www.okada-museum.com

（電車・バスをご利用の場合）

新宿駅から

小田急線（特急ロマンスカー）約90分 → 箱根湯本

●伊豆箱根バス（のりば①）・箱根登山バス（のりば②）約20分 → 小涌園

●箱根登山鉄道 約35分 → 小涌谷 伊豆箱根バス・箱根登山バス 約2分 → 小涌園

東京駅から

東海道新幹線「こだま」約35分 → 小田原駅

伊豆箱根バス（のりば⑤）・箱根登山バス（のりば③）約40分 → 小涌園

強羅駅から

施設めぐりバス 約5分 → 小涌園

（お車をご利用の場合） ※所要時間は、交通状況によって大きく異なります。

東名厚木IC → 小田原厚木道路 → 箱根口IC → 国道1号線 → 岡田美術館 [約60分]

東名御殿場IC → 国道138号線 → 宮ノ下 → 国道1号線 → 岡田美術館 [約40分]





©Kitagawa Utamaro, "Cherry Blossoms at Yoshiwara," Wadsworth Atheneum Museum of Art  
喜多川歌麿「吉原の花」江戸時代 宽政3~4年(1791~92) 明 ワズワース・アセニアム美術館蔵(アメリカ・コネチカット州ハートフォード)

### 常設展示のご案内

岡田美術館は全5階、展示面積約5,000m<sup>2</sup>の館内に、常時約450点の美術品を展示しています。



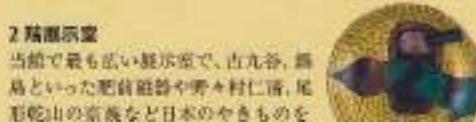
5階展示室

重要文化財「本光源林如意坐像」をはじめ、仏像や仏龕、唐物など折りの世界をご覧いただけます。



3階展示室

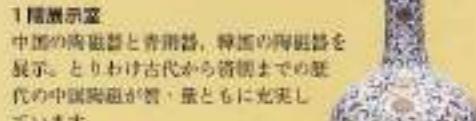
四季折々の絵図を描いた金屏風などを展示しています。



2階展示室

当館で最も広い展示室で、古九谷、舞島といった肥前磁器や有田焼、尾形乾山の扇面など日本のやきものをご覧いただけます。

古九谷文部 品川・吉原絵巻式 江戸時代 17世紀中期



1階展示室  
中国の陶磁器と青銅器、韓国陶磁器を展示。とりわけ古代から清までの大時代の中国陶磁が豊富、並んで充実しています。

宋元明清文元後漢 韓國新羅  
中国・朝鮮時代 約300点(1700~95)

### 【講演会】

演題: 歌麿大画三部作「雪月花」

2017年8月6日(日)・10月15日(日)  
講師: 小林忠(岡田美術館館長)

演題: 「歌麿の画業 -

品川・吉原・深川の風俗と美人画」

2017年9月17日(日)  
講師: 田辺昌子氏(千葉市美術館 総務長兼学芸課長)

時間: 午後1時~午後2時30分 / 会場: 5階ホール  
定員: 80名 / 参加費: 無料(要入館料)

#### 【お申し込み方法】

電話にてお名前・人数・ご連絡先をお知らせください。  
定員に達し次第、応募を締め切らせていただきます。  
電話番号: 0460-87-3931

### 【館長によるギャラリートーク】

2017年8月9日(水)、23日(水)、9月6日(水)、  
20日(水)、10月11日(水)、25日(水)

### 【学芸員によるギャラリートーク】

2017年8月11日~10月20日の毎週金曜日開催  
いずれも午前11時~  
申し込み不要・参加無料(要入館料)

138年ぶりの夢の再会

アメリカ  
(ワズワース・アセニアム美術館より  
来日)

# 吉原の花



### 本展は2階にて開催

併せて、4階にて「人物表現の広がり - 士画・彌菴から近現代の美人画まで -」を展示いたします。



# 深川の雪と 吉原の花

Utagawa's Masterpiece Reunited: *Cherry Blossoms at Yoshiwara*  
*Snow at Shinagawa*  
Together after 138 Years



©Kitagawa Utamaro, "Moon at Shinagawa," Original: Peabody Gallery of Art, Smithsonian Institution, Washington, D.C.; Gift of Charles Lang Freer, F1903.54.  
喜多川歌麿「品川の月」原本:フリーライア美術館(アメリカ・ワシントンD.C.) / 原寸大の高精細複製画を同時展示

喜多川歌麿(?~1806)による「雪月花」三部作、すなわち「深川の雪」「品川の月」「吉原の花」は、歌麿の最高傑作と名高い大画面の肉筆画です。いずれも歌麿が親交のあった栄木の豪商・善野家からの注文を受け、栄木で描かれたと考えられています。この三部作が揃って展示された唯一の記録は、明治12年(1879)11月23日、栄木県の定順寺での展観に善野家が出品したというものです。その後、三部作は明治期に美術商の手によってパリへと渡り、「深川の雪」だけが昭和14年(1939)、浮世絵収集家・長瀬武郎によって日本に持ち帰られました。そして、昭和27年(1952)に銀座松坂屋で展示されて以来、長年行方不明だったものが平成24年(2012)に再発見され、めでたく岡田美術館の収蔵となりました。「品川の月」は明治36年(1903)にフリーライア美術館(ワシントンD.C.)が、「吉原の花」は昭和32年(1957)にワズワース・アセニアム美術館(コネチカット州)が購入し、現在に至ります。

本展は、「吉原の花」をはるばるアメリカからお迎えし、当館収蔵の「深川の雪」とともに展示する画期的な展覧会です。この2作品が日本で同時に展示されるのは、実に138年ぶりのこと。しかも「品川の月」は原寸大の高精細複製画を制作し、三部作を並べて公開します。「吉原の花」が海を越え、「深川の雪」と母国日本で再会する夢のような競演に、あなたも立ち会いませんか?